



ハイプライマーアクア

水性2液変性エポキシ樹脂さび止め塗料

ハイプライマーアクアは水性サビ止めの課題であった防錆力を格段に向上し、変性エポキシ樹脂プライマーに匹敵する防錆力を実現しました。

また、水性上塗り塗料との組合せにより高性能の完全水性仕様を可能とした環境対応型のサビ止め塗料です。水性で消防法上の非危険物のため取り扱いやすく、鉛・クロム化合物も一切配合していません。

そのうえ各種金属素材に対して適性があるため、金属面の塗り替えに最適です。

JASS 18 M 109 適合品

ホルムアルデヒド放散等級区分

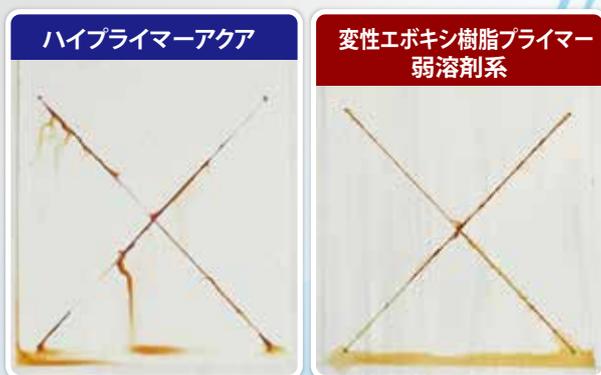
F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます

特徴

- 1 環境対応型・F☆☆☆☆**
水で希釈でき、塗料中のVOC（揮発性有機化合物）は少なくホルムアルデヒドも放散しないため、環境に対応した安全性の高い塗料です。
- 2 すぐれた防錆力、鉛・クロムフリー**
変性エポキシ樹脂プライマーに匹敵する防錆性があるため、防食性を求める場所に適しています。また、鉛・クロムを配合していないため、土壌汚染の心配がありません。
- 3 低臭気、塗装作業性良好**
臭気が少ない、塗装時は作業員や居住者、周辺環境に配慮した塗料です。また従来の水性サビ止めに比べ乾燥がはやいため、作業性にすぐれています。
- 4 あらゆる素材、上塗りに対応**
鉄部のみならず、トタン、アルミ、ステンレスに対してすぐれた付着性を発揮します。また幅広い上塗り塗料に対応し、吸い込みも少ないため、上塗り本来の美しい仕上がりが得られます。

耐塩水噴霧試験：240時間



JASS 18M-109に適合するため、弱溶剤系塗料に匹敵する防錆効果を発揮します。

用途

屋内外の鉄鋼構造物

金属機器類などの新設

塗り替え用の下塗り

として

種類・容量

品番	色名（日塗工標準色）	容量	色相
061-6541	主剤 グレー（N-75近似）	10kg	
061-6542	主剤 ホワイト（N-95近似）	10kg	
061-6910	硬化剤	5kg	—

※色相は印刷のため、実際の色と多少異なります。

乾燥時間・可使用時間

	10℃	20℃	30℃
指触乾燥	2時間	1時間	30分
塗重ね可能時間	6時間以上 7日以内	4時間以上 7日以内	3時間以上 7日以内
可使用時間	—	6時間	—

※気温および被塗物温度が5℃以下の場合は、塗装しないでください。また夏場（高温下）では硬化反応が著しく速まるため、上塗り塗装はあまり日数を置かず速やかに実施してください。塗り重ね時間が過ぎると、層間で密着性が低下します。塗装間隔があく場合は、ペーパーがけなどで処理してください。気温や湿度、天候状態、膜厚、素地の状態、形状、被塗物温度などにより多少異なります。弱溶剤型上塗り塗料を塗装する場合は、一晩以上（23℃で8時間以上）乾燥させてから塗装してください。

塗装仕様例（新設の場合）

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法・希釈率（%）	塗装回数	標準塗付量（kg/m ² /回）	塗り重ね可能時間（23℃）
素地調整	足場および飛散防止シート（必要に応じて防音シート）を仮設し、電動工具を主体として手工具を併用し、サビを完全に除去してください。日本道路協会調整程度（2種ケレン）、または SIS St3 塵埃、水分、油脂分は完全に除去し、塗装しない個所のマスキングをしてください。					
下塗り	061-6500 番級 ハイプライマーアクア	水	ローラー：0～5% エアレス：5～10%	1	0.14～0.16	4時間以上 7日以内
上塗り	111 ライン ハイパービルロックセラ	水	ローラー：5～15% エアレス：10～20%	2	0.12～0.18	2時間以上

※標準塗装仕様の数値は標準的な塗装を行う際のもので、塗装時のロスや考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法（薄膜注意）などにより多少異なることがあります。



ロックペイント

各種素材の付着性

工程 注1)	付着性	種類
鉄	○	ダル鋼板・みがき軟鋼板・黒皮鋼板など
ステンレス	○	SUS304 SUS316 など
亜鉛メッキ 注2)	○	トタン板・ボンデ鋼板など
アルミニウム	○	A6063S A1100P A1050P など
ガルバニウム鋼板	○	
FRP板	○	
硬質塩ビ	○	

注1) 素地や下地を調整したときに発生したサビ、鉄くずなどは、サビの発生の原因になるため、削りカスも含めて完全に除去してください。
注2) 亜鉛メッキ鋼板やアルミニウム板に白サビや黒サビが多いと付着性が十分得られない場合がありますので、サンドペーパーなどでサビを除去、表面あらしなどの処理を実施してください。
※上記以外の素材との付着性につきましては、最寄りの営業所までお問い合わせください。

旧塗膜との付着性

旧塗膜	適正
水性アクリルシリコン樹脂塗料	○注3)
合成樹脂調合ペイント	○注4)
水性エマルジョンペイント	○注4)
弱溶剤2液型塗料	○注4)
弱溶剤1液型塗料	○
ポリウレタン樹脂塗料	○

※上記の旧塗膜は、塗装後数年の経年劣化した塗膜を前提にしています。塗り直しなど塗装後あまり経っていない塗膜の場合は、試し塗りをしてから使用してください。
注3) 旧塗膜が塗料用シンナーに膨潤、溶解する場合は、(ハイプライマーアークアを塗装したのち、)弱溶剤型塗料を上塗り塗装するとちみみを起こす場合がありますので、注意が必要です。
注4) フッ素系やシリコン系の塗料については、付着性が十分得られない場合がありますので、サンドペーパーなどで表面あらしを行ってください。
※上記以外の旧塗膜との付着性につきましては、最寄りの営業所までお問い合わせください。

適用上塗り塗料

水性1液型アクリルシリコン樹脂塗料	水性プロテクトルーフ	弱溶剤1液架橋型低汚染リアルハイブリッドシリコン樹脂塗料	1液ユメロック DX 注7)
水性1液架橋型低汚染リアルハイブリッドシリコン樹脂塗料	ハイパービルロックセラ 注6)	弱溶剤2液型 NAD シリコンウレタン樹脂塗料	ユメロック 注7)
水性1液架橋型低汚染ラジカル制御フッ素樹脂塗料	サンフロンアークア 注5)	弱溶剤2液型低汚染リアルハイブリッドシリコン樹脂塗料	ハイパーユメロック 注7)
水性2液型超低汚染リアルハイブリッド無機系塗料	ロックリアクターアークア	弱溶剤2液型低汚染ラジカル制御4フッ化フッ素樹脂塗料	サンフロンUV 注7)
		弱溶剤2液型低汚染リアルハイブリッド無機系塗料	ロックリアクターコートUV 注7)

※ハイプライマーアークアの乾燥時間が不十分な場合は、アミンブリード(黄変)を起すことがありますので、必ず所定の時間乾燥させてから上塗りを塗装してください。
注5) サンフロンアークアで仕上げる場合、上塗りを塗装する前にサンフロンアークア専用中塗りを塗装する必要があります。
注6) 水性つや消しタイプのエマルジョンペイントを上塗り塗装する場合は、ハイプライマーアークアの乾不十分だとクラックが発生することがありますので、十分乾燥させてから塗装してください。(23℃で16時間以上)
注7) 弱溶剤型上塗り塗料を塗装する場合は、一晚以上(23℃で8時間以上)乾燥させてから塗装してください。
※上記以外の適用上塗り塗料につきましては、最寄りの営業所までお問い合わせください。

施工上の要点および注意事項

- 塗料の使用前は缶底からよくかき混ぜてください。
- 主剤と硬化剤は粘度に差がありますので、配合後は均一(主剤と硬化剤)にしてから使用してください。
- 塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間、ときどき換気を行ってください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。特に吹付け塗装の場合は注意してください。
- 塗る面のゴミ、かび、こけ、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 塗装中および塗装後 24時間は5℃以下にならない場所で使用してください。また湿度が85%以上の場合は塗装を避けてください。
- 絶えず結露が発生するような場所、用途での使用は避けてください。
- 硬くてまだツヤのある塗膜や吸い込みの無い面に塗装する際は、あらかじめサンドペーパーで面を荒らしてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測されるときは外部の塗装を避けてください。
- 内部の塗り替えで旧塗膜が合成樹脂調合ペイントやフタル酸樹脂エナメルなどの油性系の場合、ペーパーがけを行ってください。下地処理が不十分な場合、塗膜剥離になることがあります。
- サビについては完全に除去後、削りカス(サビ、鉄くず)を完全に除去してください。サビの発生の原因となります。
- トタンの折り曲げ部分、継ぎ目部分などは、膜厚が得られない場合がありますので、先に拾い塗りますことをお奨めします。
- 亜鉛メッキ鋼板の目付量が多い場合には、3~4か月屋外放置しペーパー掛け後塗装してください。
- 新設塗装の場合、本製品は塗り残しがないように塗装してください。塗り残したまま水性の上塗り塗料を塗装すると、その部分が直ちに点さび状に発生しますのでご注意ください。
- 素地が濡れている時は塗装を避け、乾いてから塗ってください。また直射日光などで極端に熱くなっている時は、少し冷やしてから塗装してください。
- 乾燥過程で霜、夜露などの影響を受ける時間帯や、昼と夜の温度差が大きい時期は、結露による艶引け現象が起こる場合があるため、時間を考慮して塗装を行ってください。
- 先に塗りにくいところを塗ってから、また高い所から下の方に降り口を確保しながら塗装してください。塗りがたつての面は滑りやすいので全体に乗らないでください。塗残しがあった場合も乾燥後に補修塗りをしてください。
- 作業時の安全には十分注意し、高所で作業する場合は安全ロープをかけて行ってください。
- ドアパッキン、緩衝材など可塑性を含むプラスチック製品に塗膜が接触したり、直接塗装を行ったりすると軟化することがありますので、塗装は避けてください。
- ハケ・ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- 使用後のハケなどの用具や、手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落してください。乾くと落ちにくくなります。
- 硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がりが外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- 配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。
- 夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。上塗りとの付着性が低下します。
- 硬化剤はアミンブリード性の少ない、主剤との相溶性にすぐれたアダクトタイプですが、施工時及び硬化するまでの間、低温(5℃以下)になる箇所への使用はできません。
- 改修塗装の場合、素地の種類や下地処理方法によって付着不良やリフティング等の塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りをすることをお奨めします。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗分量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- 各工程の塗装間隔や塗分量、希釈量を守らなかつた場合塗膜不良となる事があります。また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。この仕様書はすべての工程においてホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を使用しています。F☆☆☆☆以外の材料(被塗物、素地を含む)を使用したり、各工程の塗装間隔や塗分量、希釈量を守らなかつた場合、F☆☆☆☆でなくなることがありますので注意してください。
- カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用前に最寄りの営業所へお問い合わせください。
- 上塗り塗装は必ず2回塗り以上で仕上げてください。
- 取扱いの際は製品容器の注意書き、製品カタログおよび安全データシート(SDS)をよく読み、注意事項を厳守してください。

安全衛生上及び取扱上の注意

- 【製品の危険・有害性】
- 危険性のほとんどない製品ですが、目や呼吸器に入ることは避けてください。
- 【救急処置】
- 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のあるときは医師の診察を受けてください。
- 【取扱注意事項】
- 塗装中、乾燥中ともに換気をよくしてください。
- 取扱中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて保護安全データシート(SDS)をよく読んでから取り扱ってください。
- 手袋、保護めがね、保護マスクを着用してください。
- 取扱後は、手洗い及びうがいを十分にを行い、作業衣等に付着した汚れをよく落としてください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから破棄してください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 【施工後の安全性について】
- 本製品は揮発性の化学物質を含んでいますが、塗装直後の引き渡しの際は、施主に対して安全性に十分注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接する事のないようにご配慮願います。

ロックペイント 株式会社

東京営業所 / 〒136-0076 / 東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX (03)3640-9000
 大阪営業所 / 〒555-0033 / 大阪市淀川区姫島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1650 FAX (06)6473-1000
 札幌営業所 / 〒003-0011 / 札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX (011)812-9304
 仙台営業所 / 〒983-0044 / 仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号波正ビル201号室 ☎(022)349-8677 FAX (022)283-3255
 西関東営業所 / 〒252-0131 / 神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX (042)700-3112
 名古屋営業所 / 〒454-0059 / 名古屋市中川区福川町1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX (052)361-7433
 岡山営業所 / 〒701-1134 / 岡山市北区三和1000番34 ☎(086)294-1201 FAX (086)294-6966
 福岡営業所 / 〒811-0119 / 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX (092)963-1241

URL: <https://www.rockpaint.co.jp>

●本カタログの内容については、予告無しに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。
また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店